

もりおか

広報 2017

4月15日号(No.1455)

◆主な内容◆ (平成29年4月15日号)

春のイベント、児童福祉週間、第1豆門踏切で通行止め
各種講座情報
健康ガイド、子育て情報ひろば
市営住宅入居者募集
盛岡の魅力を体験できる講座情報

2~3ページ
4~5ページ
6~7ページ
9ページ
10ページ

第26回日専連全国児童版画コンクール学校特別賞に輝いた
平成28年度共同制作「城内小学校の思い出」の前で



ありがとう、

私たちの学び舎

城内小(作山文康校長、児童13人)が141年の長い歴史に幕を閉じました。3月19日に閉校式が行われ、卒業生や地域の人など約170人が出席。全校児童が、力いっぱい学校行事に取り組んだことや野菜を育て収穫したことを振り返り、地域の人たちがいつもそばにいて励ましてくれたことに感謝の気持ちを述べました。校歌よりも古くから歌い継がれ、閉校記念碑にも刻まれた「城内小学校子どもの歌」の斉唱では、涙する出席者も。同校最後の卒業生となった太田司星さんは「6年生2人だけの修学旅行が思い出」、福田優心さんは「たくさんの行事を地域の人たちと一緒にやったことが楽しかった」と母校への思いを語りました。また、卒業生の山内俊雄さん(57)は「姫神山に登ったり、山菜を採ったり、学校周辺全てが遊び場だった」と豊かな自然に囲まれた学校生活を懐かしみました。

同校は明治8(1875)年9月に玉山小学校として創立。改称や移転などを経て、昭和22(1947)年に城内小となりました。これまで巣立った卒業生は約1260人に上ります。

新たな学びやとなる渋民小への統合に当たっては、子どもたちが新しい環境に溶け込みやすいように、合同学習や行事などで交流を深めています。子どもたちは、城内小での思い出を胸に新しいステージへ羽ばたきます。

閉校記念碑の除幕式(3月19日)



閉校式で感謝の気持ちを伝える児童



最後の卒業式(3月17日)

